

NEWS RELEASE



2008年2月14日

ハートフォード生命、千葉ロッテマリーンズとの オフィシャルスポンサー契約を更新 — 公式戦ユニフォーム胸部に牡鹿ロゴマーク —

ハートフォード生命保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：デイビッドN. レベンソン、以下「ハートフォード生命」）は、株式会社千葉ロッテマリーンズ（本社：千葉県千葉市、取締役社長：瀬戸山 隆三、以下「千葉ロッテマリーンズ」）とのオフィシャルスポンサー契約を更新しました。このスポンサー契約は、ハートフォード生命の日本におけるマーケティング活動の一環として昨年千葉ロッテマリーンズとの間で締結したもので、今回の更新は4年契約となります。

本契約により、千葉ロッテマリーンズは、昨年に引き続き、右胸部分にハートフォード生命の牡鹿ロゴマークが入った公式戦ユニフォームを着用します。またハートフォード生命は、昨年同様、冠試合「ハートフォード・デイ」を開催します。さらに今回新たに、同チームのホームゲームにて7回表終了後に行われる「ラッキーセブン」でのイベント実施権を獲得し、同イベントにてハートフォード生命の牡鹿ロゴマーク入りジェットバルーンを飛ばすなどのプロモーション活動を展開します。

ハートフォード生命は、2000年12月に証券・銀行窓口販売モデルで変額個人年金保険を販売開始し、2007年9月末現在、3.9兆円の特別勘定資産残高を有し、変額個人年金保険市場でのシェアは約24.2%（2007年12月7日付保険毎日新聞）とナンバーワンの実績を収めています。今回、年間150万人を超える動員数を誇り、あらゆる世代に人気のある国内有数のプロ野球球団である千葉ロッテマリーンズの公式スポンサー契約を継続することにより、更なるブランド認知度の向上を目指します。

<千葉ロッテマリーンズの2008年新ユニフォーム>



<ホーム・ストライプ>

<ホーム・セカンドユニフォーム>

<ビジター>

以上